

# 令和4年度学校生活アンケート結果の報告

多可町立杉原谷小学校

今年度も「学校生活アンケート」を実施しましたところ、保護者の皆様にはご多忙の中ご協力いただきありがとうございました。同時に実施しました児童アンケートと併せまして、集計結果並びに考察を、以下の通りお示しさせていただきます。

なお、項目ごとに経年比較をしておりますが、評価項目を一部見直した関係で、項目によっては比較期間が短くなっております。ご了承ください。

- 1 実施日 令和4年12月
- 2 回答数 保護者 111名、児童 111名
- 3 評価点について

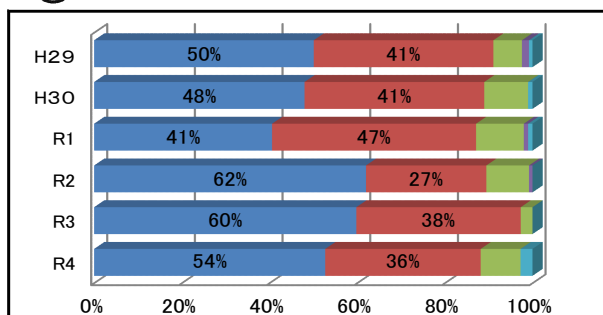
○設問末尾の点数は、できている5点/ややできている3点/やや不十分2点/不十分0点として平均したものです。また、その後の（ ）は昨年度の評価点との比較です。

平均点数が 4.0点以上	・・・優れている ○
3.5以上4.0点未満	・・・普通 □
3.5点未満	・・・努力がいる △ で評価しました。

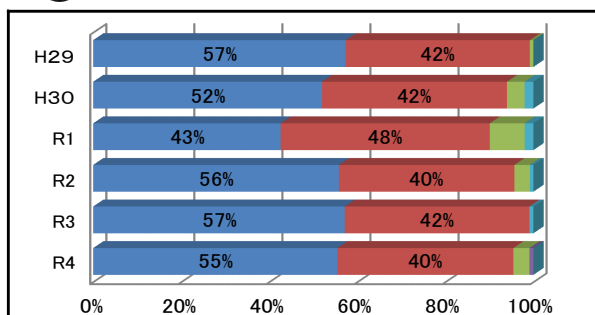
## 【保護者アンケートより】

左より できている(青)→ややできている(赤)→やや不十分(緑)→不十分(紫)→わからない(水色)

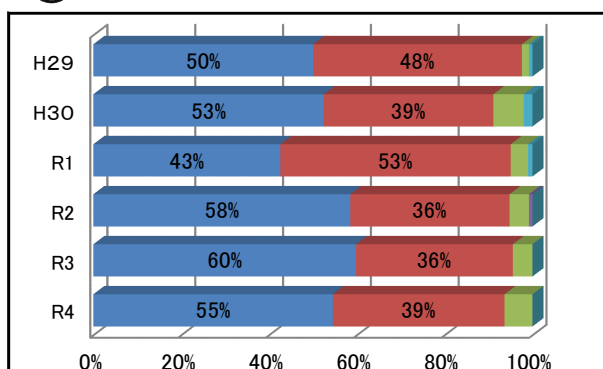
### ① 学校や地域でのあいさつ4.0(-0.2)



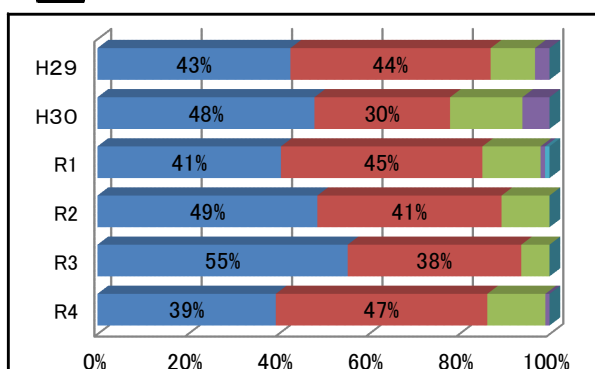
### ② 思いやりの心4.1(±0)



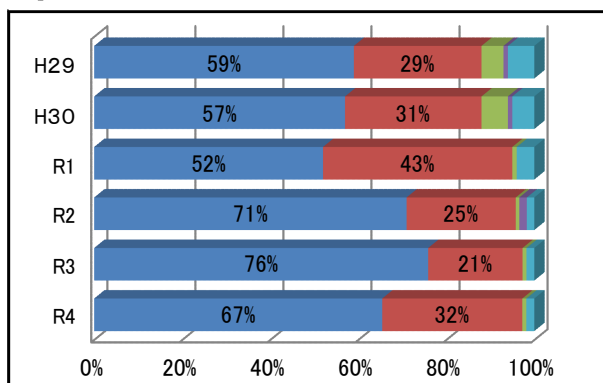
### ③ ルールやマナーを守る態度4.0(-0.2)



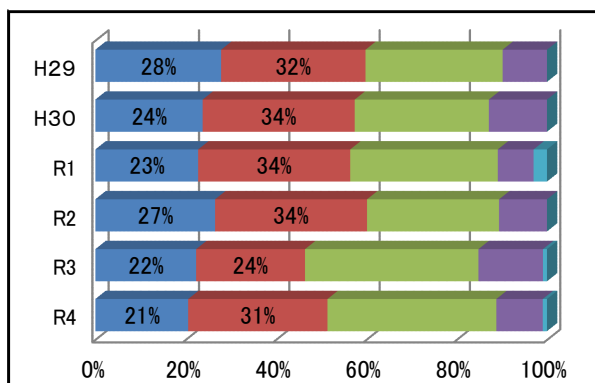
### ④ 家庭学習に進んで取り組む3.6(-0.4)



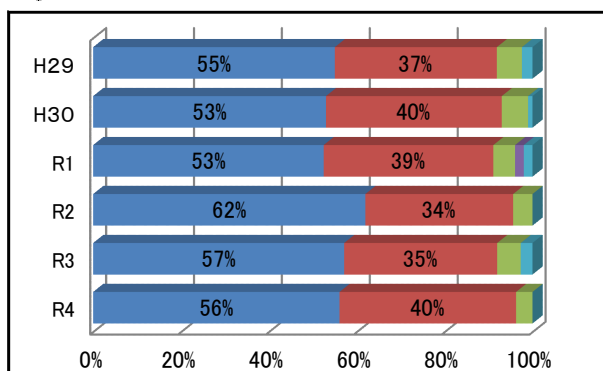
⑤ 基礎学力がつく授業づくり4.3 (-0.2)



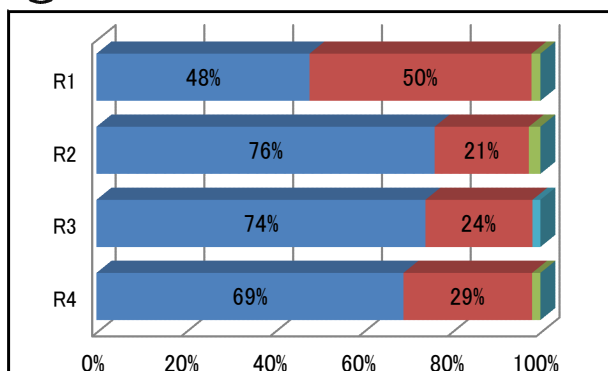
⑥ 家庭での読書2.7 (+0.1)



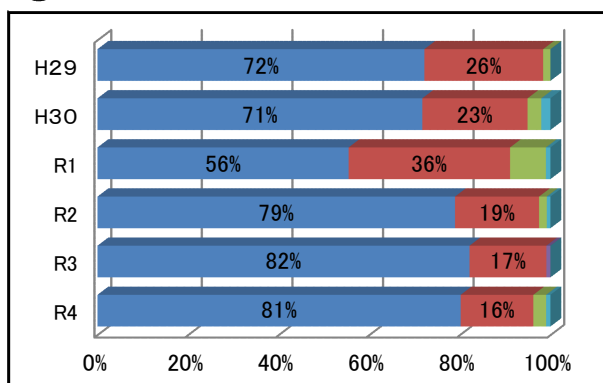
⑦ 体力づくりが進んでいる4.1 (+0.1)



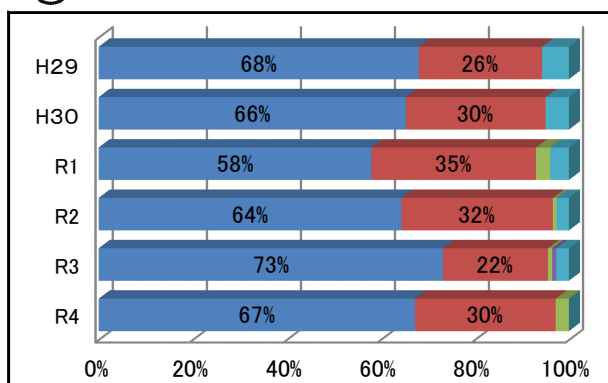
⑧ 健康な暮らしに努めている4.4 (±0)



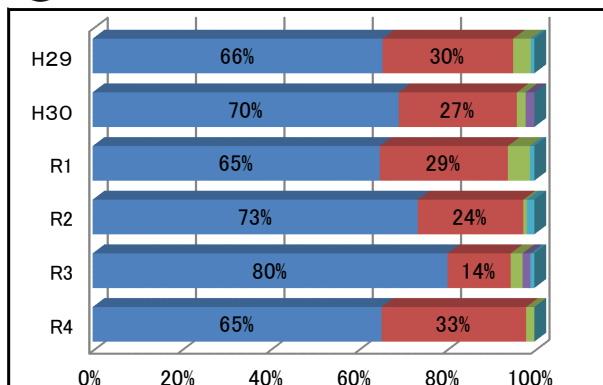
⑨ 友だちと仲良く4.6 (±0)



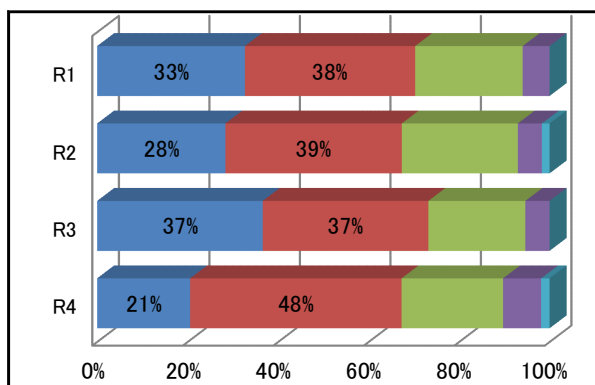
⑩ 特色ある学校づくり4.3 (-0.1)



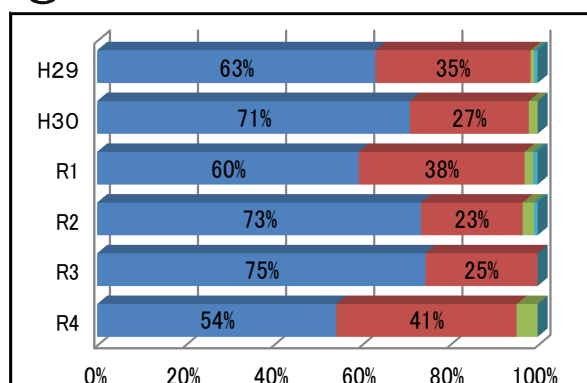
⑪ 安心安全の確保4.3 (-0.2)



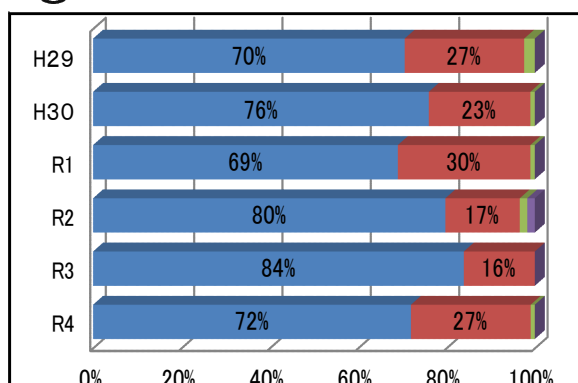
⑫ PCなどのルールを守る(家庭)3.0 (-0.4)



⑬ 学校の取組を伝えているか4.0 (-0.5)



⑭ 本校教育への満足度4.4 (-0.3)



## －考察－

保護者の皆様からのアンケート結果を見ますと、14の設問の内、11項目で「優れている」という評価をいただきました。昨年度との比較では、点数が高くなったのは2項目、昨年度と同程度が4項目でした。

特に評価が高かった設問は「5基礎学力がつく授業づくりができている」(4.3)「8健康なくらしに努めている」(4.4)「9友だちと仲良くできている」(4.6)「10特色ある学校づくりができている」(4.3)「11子どもたちの安心安全がの確保に努めている」(4.3)「14教育活動に満足している」(4.4)があげられます。

まず、「5基礎学力がつく授業づくりができている」ですが、今年度は「やりぬく姿勢、つなぐ学び」を研究テーマに、そしてサブテーマとして「対話による思考の深まりを表現する」掲げて1年間取組を進めてまいりました。具体的に述べますと、確かな学力の育成に向け、以下の取組を行いました。①学ぶこと、最後までやりきることが当たり前である雰囲気づくり②学習規律の徹底の取組③家庭と連携した家庭学習週間の実施④朝の学習タイムを活用した基礎学力の定着です。①②③は数年前から継続して取組を進めており、年を追うごとに定着が図れています。④のなかでも、水曜日と木曜日に行っている「速読解の取組」は昨年度に始めた取組であり、読解力の育成に今後成果が表れてくると考えています。また、対話的な学びについても研修を重ねており、対話的な場面が授業の中に多く組み込まれ、それが子どもたちの思考の深まりに繋がってきております。

続いて、「8健康なくらしに努めている」「11子どもたちの安心安全の確保に努めている」については、学校では最優先事項に掲げ取組を継続してきております。具体的には保健だよりの発行や治療勧告等、健康教育に関する情報提供を心がけてきました。また、保護者の皆様やかみっこサポートの応援を得ながら立番を行いました。学校では毎月15日に安全点検を実施し危険箇所は迅速に修理するよう心がけています。さらに避難訓練は、火災、不審者対応、地震といろいろな災害を想定して学期ごとに行いました。

「9友だちと仲良くできている」についても高い評価をいただきました。学校では、子どもたちのコロナ禍による学校生活や友だち関係への不安を払拭するために、心の健康教育を実施したりストレスチェック並びに生活相談シートを活用し児童と面接やカウンセリングを行ったりしてきました。また、友だちの優しさに気づくよう毎月の第一週目を『ぽかぽか週間』と定め、人権意識の高揚に努めてきました。その成果の一端が表れたものと考えます。今後も、子

ども一人一人に寄り添い、子ども同士がよりよい対人関係を築ける教育活動を継続していきます。

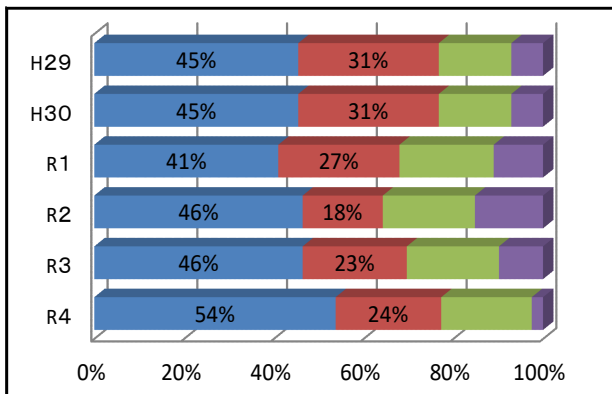
最後に、「14教育活動に満足している」が、4.4点（5点満点）という評価をいただいておりますが、この評価は、令和2・3年度との比較において、「できている」の割合が10ポイント以上上がっていることを真摯に受けとめる必要があると考えています。引き続きコロナ禍での学校運営にあっても、安全安心に配慮をしながらも、より充実した教育活動を展開していく必要があります。今年度の本校の取組をしっかりと振り返り、子どもたちの笑顔、そしてさらなる成長に向けて、各領域の実践を進めてまいりたいと思います。

一方、評価の低かった設問は、昨年に引き続き「6家庭での読書」（2.7）「12PCなどのルールを守る」（3.0）があげられます。

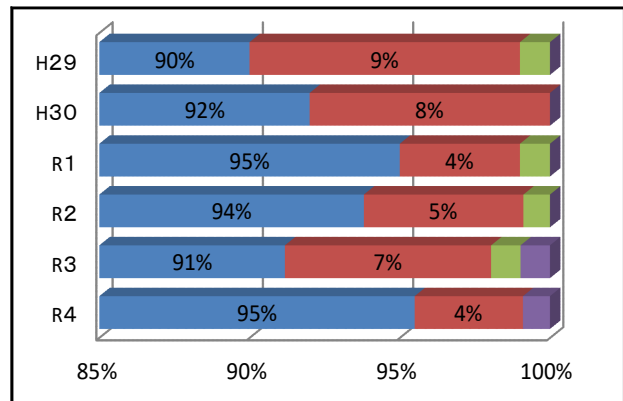
「6家庭での読書」につきましては、ここ数年ほぼ横ばい状態が続いております。これを6頁にあげております子どもアンケート「10読書をしているか」（3.9）と比較しますと、子どもの方が『できている』と考えていることが分かります。学校では、読書週間を設定し教員や図書委員、図書ボランティアによる読み聞かせ会を行うなど、子どもたちが本に親しむ機会を増やす工夫をしております。さらに、多可町教育委員会により配置していただいている学校図書館アドバイザーや図書ボランティア、多可町図書館と連携し、図書室の環境整備にも努めてきました。そのような取組の成果として、子どもたちの「読書をしている」という意識が高くなっていると考えられます。また、学校では隙間時間を利用して読書に励む子どもたちも多くおり、読書への関心は低くないものと思われれます。ただ、読書よりも魅力的なユーチューブやネットゲーム等に時間を割いてしまう現状があります。7頁にあげております子どもアンケート「19ゲーム・LINE・YouTubeにかける時間」（2.1）が表すように、年々ゲーム等に時間を費やす子どもが増加していることが分かります。そんな状況に歯止めをかけるために、家庭においては、PC使用のルールづくりについて再確認いただくことが必要であると感じます。そうすることで、「12PCなどのルールを守る」の評価も改善されていくと考えます。子どもたちの家庭生活に占めるゲーム・スマホ利用時間の増加は、子どもたちの生活習慣に悪い影響を及ぼしています。学校では、保護者とともにネット依存症の恐ろしさや生活習慣の乱れ、ネットいじめ等への関心を高め、情報モラルを身につけた子どもの育成をめざした取組を進めてまいります。そして、読書への興味づけと並行して進めることで、子どもたちの読書ばなれを防ぎ、読書の習慣化に繋げていきたいと思っています。

【児童アンケートより】

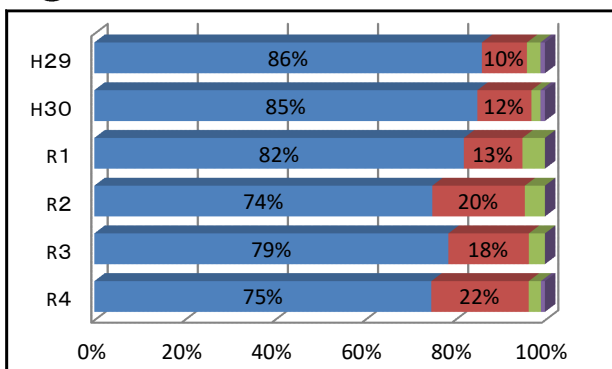
① 朝、自分で起きることができる3.8 (+0.4)



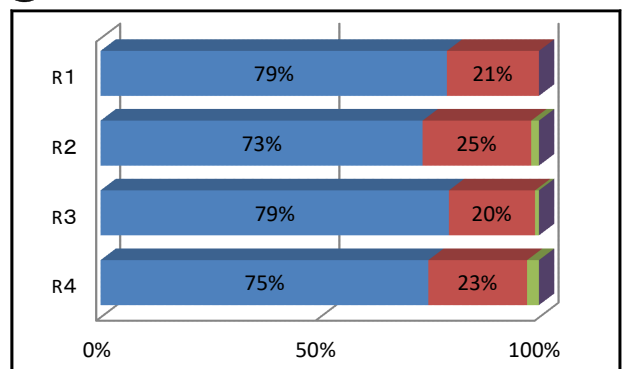
② 毎朝、朝ご飯を食べている4.9 (+0.1)



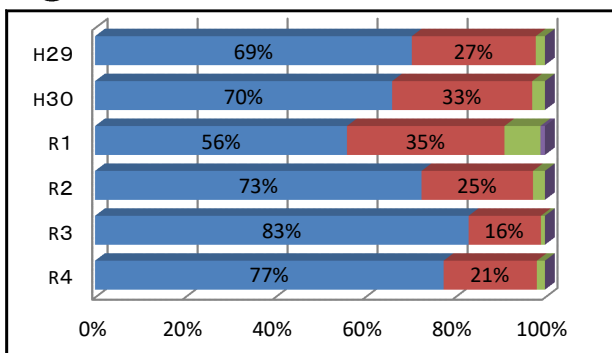
③ 行き帰りの地域の人へのあいさつ4.4 (-0.1)



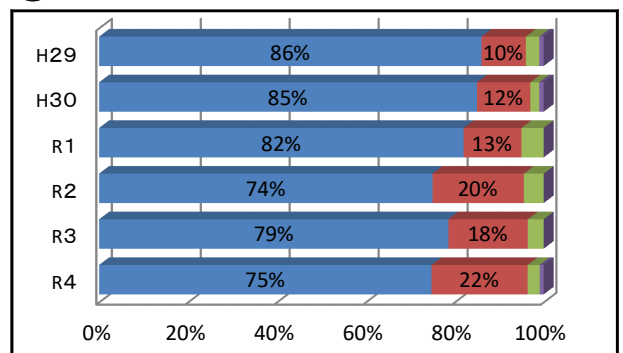
④ きまりやマナーを守って生活する4.5 (-0.1)



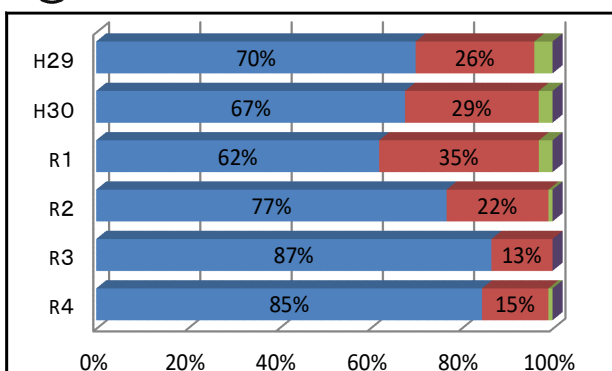
⑤ 学校では進んで勉強している4.5 (-0.2)



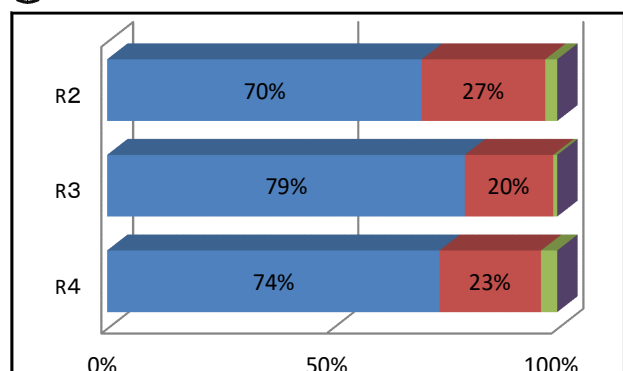
⑥ 勉強はよくわかる4.2 (±0)



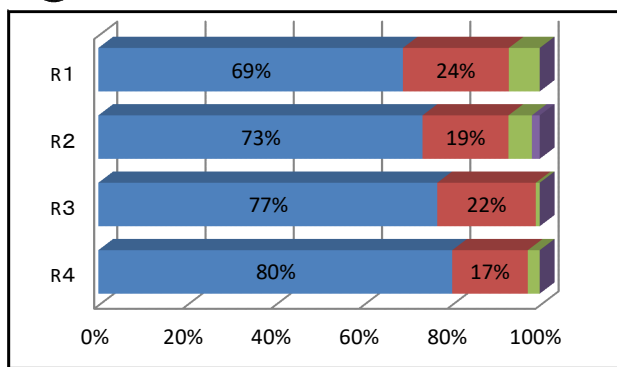
⑦ 話をしっかり聞いている4.7 (±0)



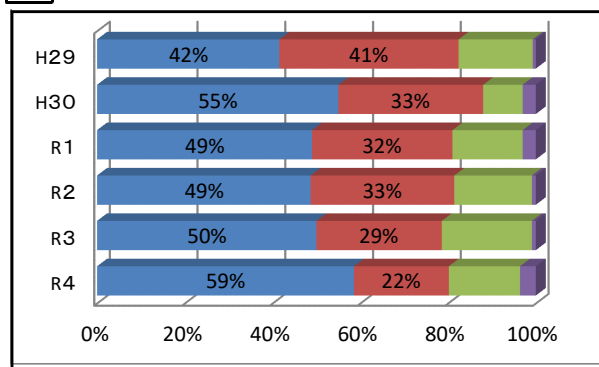
⑧ 自分の考えをもって勉強している4.4 (-0.2)



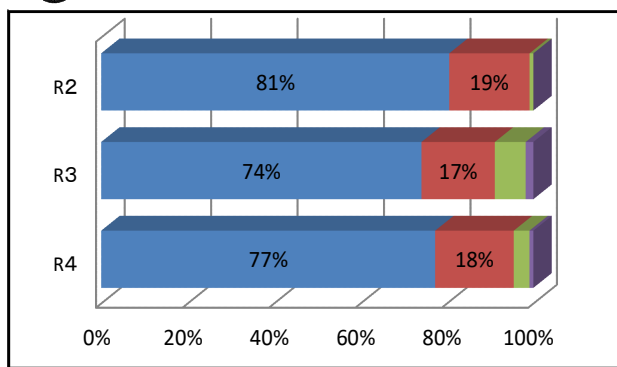
⑨ 進んで宿題をしている4.6(+0.1)



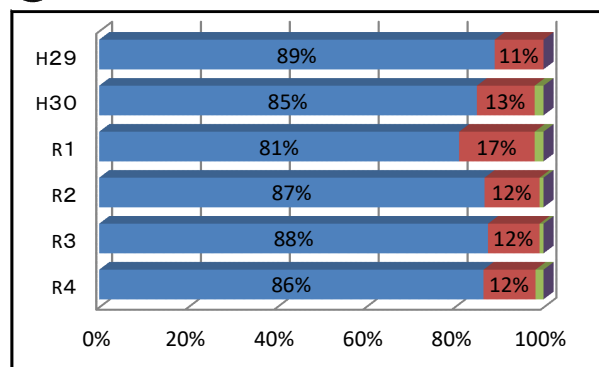
⑩ 読書をよくしている3.9(+0.1)



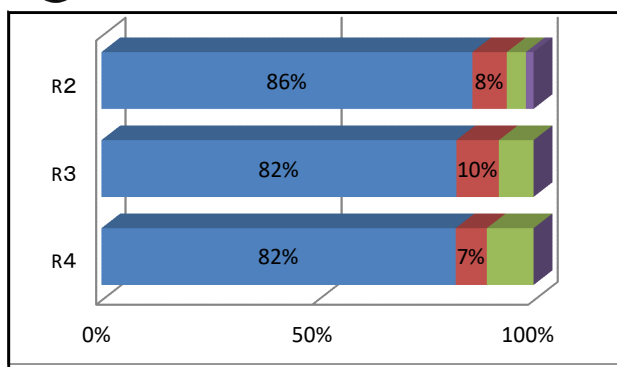
⑪ 体力づくりに進んで取り組む4.5(+0.1)



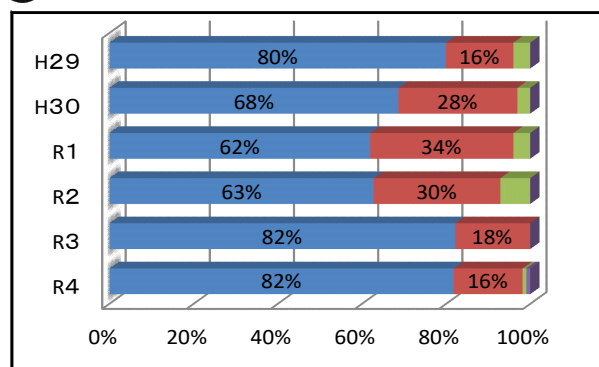
⑫ 友だちと仲良く過ごしている4.7(±0)



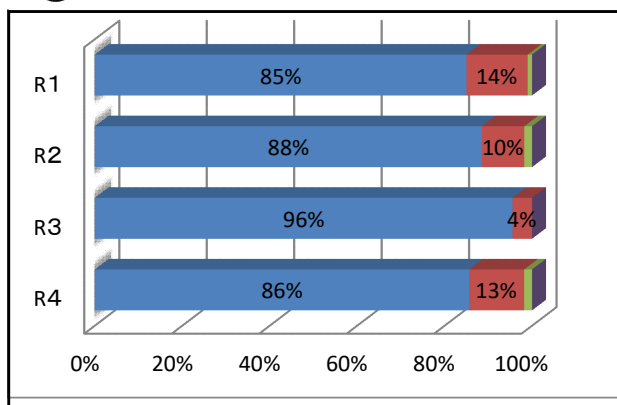
⑬ 困ったときに相談できる人がある4.5(-0.1)



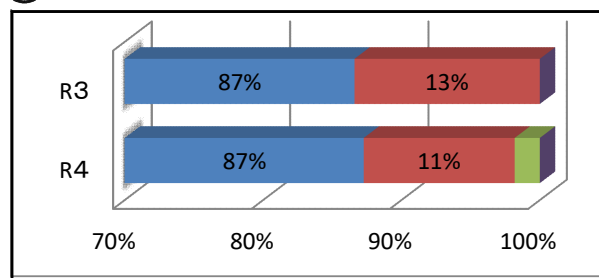
⑭ 地域の良さに気づく4.6(±0)



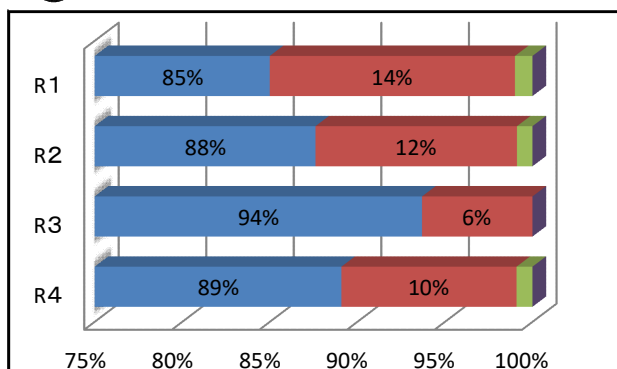
⑮ 学校行事に進んで取り組む4.7(-0.2)



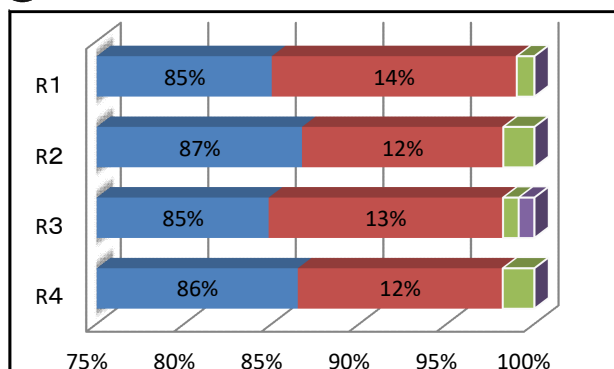
⑯ 将来の夢や目標 役に立つ人間に4.7(±0)



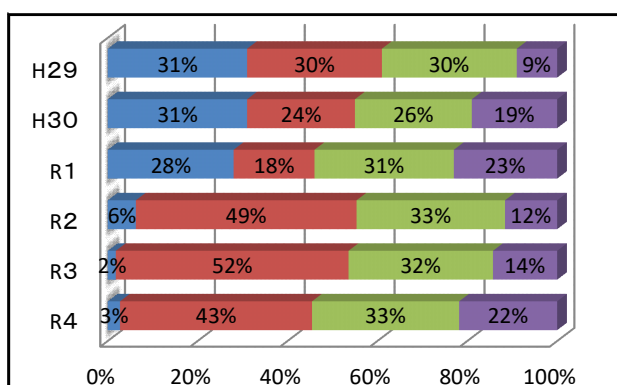
⑪ 身を守る気持ちで避難訓練に参加4.8(-0.1)



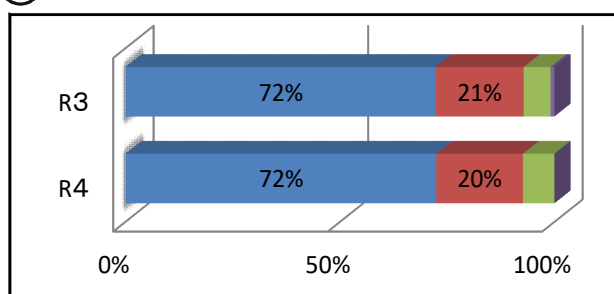
⑫ 安全に登下校ができている4.7(±0)



⑬ ゲーム・LINE・YouTube等の時間2.1(-0.2)



⑭ 家できめたPCのルールを守る4.4(±0)



(青:しない 赤:~1時間 緑:1~2時間 紫:2時間以上)

—考察—

児童アンケートの結果を見ると、20の設問の内17項目で「優れている」という評価をしています。また、5項目で昨年度の評価よりも点数が高くなりました。特に評価が高かった設問は、「2毎朝ご飯を食べている」(4.9)「4きまりやマナーを守って生活する」(4.5)「5学校では進んで勉強している」(4.5)「7話をしっかり聞いている」(4.7)「9進んで宿題をしている」(4.6)「11体力づくりに進んで取り組む」(4.5)「12友だちと仲良く過ごしている」(4.7)「13困ったときに相談できる人がいる」(4.5)「14地域の良さに気づく」(4.6)「15学校行事に進んで取り組む」(4.7)「16将来の夢や目標がある・役に立つ人間になりたい」(4.7)「17身を守る気持ちで避難訓練に参加した」(4.8)「18安全に登下校ができている」(4.7)があげられます。

まず、「4きまりやマナーを守って生活する」では、本校の児童は規範意識が高く、きちんとルールを守る姿が見られます。取組としては、生活指導委員会が月目標を設定して一斉下校時に目標の確認をし、月末には各学級で振り返りの機会をもつことで、きまりやマナーを守る意識が育ってきています。学級指導や道徳教育の充実も図りながら、事の善悪を判断し、責任ある行動がとれる児童、そして間違った行動に対して意見が言える児童の育成に力を入れています。

次に「9進んで宿題をしている」「10読書をよくしている」については、昨年度よりポイントを伸ばしています。毎学期、2回実施しております家庭学習チェック週間の取組では、ご家庭でのご協力もいただき、児童の家庭学習の習慣化に効果を上げているものと考えております。



今後も保護者の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。読書活動の取組につきましては、保護者アンケートの考察で記述しております通りですが、ご家庭におきましても、親子読書の時間を設定していただくなど、ゲーム・スマホ等を手放す時間を増やしていただきたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

続いて「12友だちと仲良く過ごしている」「13困ったときに相談できる人がいる」についてですが、日々の生活の中で気持ちの行き違いによる子ども同士のトラブルはありますが、トラブルを解決する過程において、子どもたちは友だちとの接し方やつきあい方を学び、より良い人間関係を構築しています。また、多可町内の小中学校で取り組んでいる心の健康教育により、自分のものの見方や考え方を見つめたり、ソーシャルスキル学習を行ったりすることで、よりよい人間関係を築くためのスキルを身につける取組を行っています。さらに、今年で3年目となる『ぼかぼか週間』の実施も、友だちの優しさや心遣いに目を向ける機会となっており、人権意識の高まりにつながっています。ただ、どの児童も人間関係で悩むことがあります。自分たちだけでトラブルを上手く解決できない時もあります。一人で悩みを抱え込まないよう、学校として常に相談しやすい環境づくりを図るとともに、児童観察や学校生活相談シート、ストレスチェックなどを通じて、問題行動やいじめ等の早期発見に努めてまいります。また問題が発生した時には、保護者と連携し迅速な対応を心がけます。

「14地域の良さに気づく」「15学校行事に進んで取り組む」「16将来の夢や目標がある・役に立つ人間になりたい」については、コロナ禍のもとではありますが、感染症対策を取りできる範囲で学校行事を行うとともに、多可町内の施設見学や各学年の体験学習等を実施してきました。それらの取組の中で、様々な経験を通して子どもたちは充実感や達成感が得られていると考えます。

「17身を守る気持ちで避難訓練に参加した」「18安全に登下校ができている」については、上級生が中心となり安全に配慮しながら登下校を行ったり、実際の災害を想定しながら真剣に避難訓練に取り組んだりできています。また本年度は不審者対応の避難訓練も実施することで、「自分の命を自分で守る」ことへの意識向上にも繋がったように思います。安全安心の確保について、気になることがありましたら学校までご連絡いただきますようお願いいたします。

「19ゲームやライン、ユーチューブの時間」(2.1)が今年度も低下し、飛び抜けて低評価となっています。これは保護者アンケートの考察にも記しましたように、子どもたちの健全な育成に向け、喫緊の課題として危機感をもって対応していきたいと思えます。コロナ禍により生活様式が大きく変わりました。学校ではGIGAスクール構想がスタートし、タブレットの有効活用について検討を進めているところです。今や、タブレットやスマホはなくてはならない機器となっている一方で、ネットゲームによるトラブルやネットいじめなどの深刻な問題が起きています。「20家で決めたPCのルールを守る」は4.4と高い評価が出ており、お子様はご家庭のルールの下で情報機器を使用されていることと思いますが、自分では気をつけていても、思わぬ落とし穴がある場合がありますので、学校では引き続き情報モラル教育にしっかりと取組を進めていきます。ただ、学校だけでは対応しきれない課題であり、保護者・ご家庭と連携しながら、危機意識を高くもって課題解消に向けた取組を進めていく必要があります。今一度ご家庭においてオンラインゲームやラインでの約束事やユーチューブの視聴時間などについてお子様と話し合いをもっていただくことをお願いします。



## ☆保護者用学校アンケートの記述分についての回答☆

アンケートの記述部分についても、学校への励ましや要望等、前向きなご意見をいただきました。ありがとうございました。要望やご意見には学校としての考えを掲載もさせていただきます。なお、今回いただいたすべてのご意見をもとに職員でしっかりと意見交流し、今後の教育活動に生かしてまいります。ご協力ありがとうございました。

### 【タブレットの活用について】

○タブレットの毎日の持ち帰り、必要でしょうか？タブレットが約2 kg。教科書などとランドセルに入れて計量すると6.5 kgにもなりました。タブレットを持ち帰るなら、教科書をタブレットに取り込めば、よいのでは？あとタブレットに、原稿用紙のテンプレートがあればいいです。読書感想文や作文は、タブレットを活用すると便利ですね。文字を書くということも大切ですが、推敲をするような課題こそ、タブレットを使うべきだと思います。

タブレットの持ち帰りは、今後も検討課題として学校で協議をしていきたいと考えますが、家庭での宿題等への活用も、少しずつ使えるようにしていく必要があるとも考えています。ランドセルが重いことについては、学校に教科書等を今よりも置いておくことを検討したいと思っています。

○学級閉鎖の時、タブレットを持ち帰っていたのに、健康観察しかできなかったのが残念でした。もう少しリモートにも力を入れてほしいです。

個別の対応としては、リモートは体調不良で休んだ子にはできないと考えています。学級閉鎖時は、体調不良の児童への配慮もあるので、全体としてのリモート授業は控えさせていただきました。今後、オンライン授業の実施については、実施方法を研修し、技量を高めていることが必要だと考えています。

### 【奉仕作業への取組】

○学校周辺での奉仕活動を行えたら良い経験になると思います。

夏の奉仕活動は、人数が少なく、学校内の作業で精一杯です。別の機会であれば、今後、地域にも出て行って奉仕活動することは、子どもたちの目を地域に向けるという意味でも、いい経験になると考えています。地域にもお手伝いいただくこともお願いしたいし、学校が地域のためにできることもしていきたいと考えています。

○奉仕活動（芝生の手入れや歩道橋の清掃など）を授業で取り組んでほしいです。杉小の特性の芝生の手入れ体験や学校外で地域に貢献する活動で子どもたちに大切なことを学んでほしいです。

芝生の管理はできる範囲で子どもが担当するのもいいことだと考えます。芝生グラウンドを造成された地域の願いにもふれ、グラウンドへの愛着も深まると 생각합니다。

## 【PTA活動】

○コロナの影響で役員会議が開催されないことで情報共有といった点で不十分だったと思います。

承認事項が多く、集まらなくても活動内容について確認できると考えました。代表委員さんだけでも集まる機会があってもよかったと思います。

## 【荒天時の引き渡しについて】

○2学期の始め、警報も出ていないとき、急に引き渡しにされていて、工作中メールも見れないのに12時までとなっていて、バス通なので祖母がバス停で待っていて（11時前から）たまたま同じ清水の子のお母さんが声をかけてくれたって気づいたようです。急に困りました。

天候の変化が急で仕方なく行いました。お声かけいただけるつながりに感謝しています。しかし、安全に関わることなので、連絡がつかない場合は学校で待っていただいて、保護者に引き継ぎたいと考えています。警報発令時や、災害の時はもちろんですが、荒天時にもご協力をお願いすることがありますので、ご理解ください。

## 【行事等の要望・感想】

○運動会の組み体操がまた復活してくれればうれしいなと少し思います。

組み体操は全国的に危険な運動として禁止の方向となっており、本校でも復活の予定はありません。

○コロナが落ちつきはじめたらいろいろな事を体験させてほしい。

引き続きコロナ禍ではありますが、感染拡大防止策を講じて、できることは少しずつ実施する方向で検討していきたいと思っています。

○他の多可町内の小学校と比べて課外活動が少ない。すごく差があるように感じます。

小学生なのでワクチンを接種していない子も多く、感染防止のための判断とを考えていただきたいです。活動場所での感染防止の手立てなど、条件的に難しいことが多かったのは事実です。遠方へ行けなくても、福祉体験や地域の施設見学、ふるさとの伝統にふれるなど、地域に根ざした貴重な経験ができて良かったのではないかと考えています。

## 【コロナ禍の感染対策について】

○コロナ関連のことでは、子どもたちの大切な子ども時代、本当にマスクが必要なのか、アルコールで消毒しすぎているのか、近づきすぎたらダメ…公教育の場でなかなかむずかしいとは思いますが、多様な考え方を認め、世の中の当たり前を疑って、自分の考えに責任をもつという方向にシフトチェンジして行ってほしいです。マスクしたかったらする…など。だって、こんなにみんなマスクしててマスクに意味があったら流行らないですよ。

ウイズコロナの時代になりつつあります。ただ、得体の知れない病感染症ではあります。小学生はワクチンをうけていない子も多く、安全のために感染は防ぐべきと考えます。自分の考えに責任をもつというのは、保護者との熟慮のうえ、本人が納得して行動するということになり、他の子には強制しないようにせねばならないと考えています。

【学校からのお知らせ、HP等について】

**○ホームページの更新が少ない。**

週に2回の更新を心がけています。掲載が翌週以降になってしまうことがありました。また、学年による掲載頻度の違いもありました。できるだけ、どの学年の様子も発信できるよう配慮していきたいと考えています。

**○ホームページの行事予定を、もう少し早めに更新していただきたいです。**

早めに分かるに越したことはないと思うので、行事予定は早めに出すようにしたいと考えています。ただ、月末に予定が入ることもあるので変更することになり、かえってご迷惑をおかけすことになるのではないかと心配もしています。

**○杉小だよりの発行を次月の1日に渡すのでは、その日の下校時刻がわかりません。次号を当月の末に発行をお願いします。**

月末に次月のたよりを発行していくように、発行のタイミングを早めるようにしていきたいと思います。

【杉原紙の取組】

**○伝統を受け継いで、世界に1つの卒業証書作り、子どもたちにとってすごく良い経験、良い思い出になったと思います。これからも続けてほしいと思います。（希望があれば）親も参加できたらいいなと思います。**

保護者の方の参加も、検討していきたいと思います。

【がんばりタイムのプリント】

**○がんばりタイムは沢山のプリントを持ち帰りますが、なかなか自宅で見直しができず、間違ったままやりっぱなしのままになってしまっています。**

ご家庭での学習等に可能な範囲で活用いただけると幸いです。

【校門の戸締まりについて】

**○時々しか見ないので一概には言えませんが、裏の門が閉まっている時と開いている時があります。**

児童が登校している間と夜間は、正門、裏門とも閉めることにしています。児童の下校後は、裏門は開放しています。ただし、冬期は凍結により開閉できなくなってしまうので、開放したままにしています。

上記のほか、感想等もたくさんお寄せいただいております。学校の取り組みに対してのご意見を大切にして学校運営に取り組んでまいりたいと思います。

**○杉原紙の証書作り。全行程を体験するのは、大変なことだと思いますが、貴重な体験をさせてもらっていると思います。**

**○杉原紙について体験を通してどの学年でも学んでいるのがすてきだと思います。**

**○あったかあいさつ運動で表彰されてとてもうれしく思います。本当にみんな大きな声で**

あいさつしてくれて気持ちが良いです。このままどんどん進めてください。よろしくお願いします。

○近所で散歩していると、出会った小学生が大きな声であいさつをしてくれるのが素晴らしいです。

○杉原谷ふるさと検定をすることにより、地域のことを知るきっかけになりました。それがなければ、関心を持つことなく、過ごしていたと思うので、続けていただければと思います。

○ゲームやYouTubeなどで、不必要な言葉遣いの知識を持たないよう様子を見ています。

○いつもありがとうございます。「学校大すき」と言って毎日たのしく通っています。

○細かなことまで連絡をくださるので、助かっています。いつもありがとうございます。

○お兄ちゃんお姉ちゃん（子どもより上の学年の子たち）が優しくしてくれていてすごく嬉しいです。

○登下校や普段の様子を見ていても上級生が下の学年のを思いやっている様に感じます。日頃から他学年と交流する機会を設けているからだと思います。今後もそういう時間を作っていたきたいです。

○入学式の時に在校生たちの姿勢がすごくきれいでした。

○学年関係なく全校生が仲がいいのがいいと思います。

○他学年の子どもと遊んだ事など、家で話してくれます。1年～6年まで、みんな仲良い雰囲気を感じています。アットホームで、ほっこりしていて、うちの子に合った学校だなと感じています。

○いつも子どもたちのことを見てくださっているのが伝わります。ありがとうございます。

○いつもありがとうございます。子どもたちは、毎日楽しく通学しています。人数は少ないけど、穏やかな杉小。安心して毎日送り出せます。

○1年ですので授業もとてもていねいな体制が整っていると思います。懇談でも感じ取ることができましたが、1人1人の特徴をよく見ていただいていると思いました。

たくさんのご意見をお寄せいただき有り難うございました。